

令和5年度利用者アンケート結果

課題・問題点	改善策	備考
<p>(共通・窓口相談・自主事業・貸出施設・予防/居宅・通所) 女性に対して男性が入浴介助なのが気になる</p>	<p>いつまでに：適時 何を改善するか：同性介助が望ましいことは十分承知していますが、利用者・職員共に女性の割合が多いので実施できていません。今後、利用者・職員共に男性が増えた場合には同性介助を実施していきたいと考えています。 (改善責任者：後藤)</p>	
<p>(共通・窓口相談・自主事業・貸出施設・予防/居宅・通所) 浴室の戸の開け閉めの時に寒いと感じることがある</p>	<p>いつまでに：即時 何を改善するか：戸の開閉は最小限にしていきます。出入りの際は職員同士で声を掛け合い、開閉の際にシャワーをお掛けし、湯冷めされないよう配慮していきます。 (改善責任者：後藤)</p>	
<p>(共通・窓口相談・自主事業・貸出施設・予防/居宅・通所) 職員の話し方で早口なところがあった。もう少しゆっくり話した方が良い。</p>	<p>いつまでに：随時 何を改善するか：ご来場の皆様にご理解いただきますことが重要ですので、ゆっくりと滑舌良く話すよう、指導徹底していきます。 (改善責任者：榊原)</p>	
<p>(共通・窓口相談・自主事業・貸出施設・予防/居宅・通所) ケアプラザの存在、事業目的、内容の広報をきめ細かく行ってほしい。ケアプラザの存在を知らない方が多い。</p>	<p>いつまでに：適時 何を改善するか：ケアプラザが発行する広報紙にて、年に1回施設紹介の記事を掲載しています。また、様々な事業を通じ、パンフレット配付等でケアプラザの事業について、周知しております。今後ともより多くの機会を設け、周知に努めていきます。 (改善責任者：榊原)</p>	

<p>共通・窓口相談・自主事業・貸出施設・予防/居宅・通所) 夜間利用することもなく、閉館していることも知らなかった。しかし、統計的に夜間の電話による相談があるのなら、その事業だけでも対応可能にしておくとの良いのでは。</p>	<p>いつまでに：適時 何を改善するか：夜間の電話での包括支援センターへの相談は月に2~3件程度で緊急性のあるものではありませんでした。貸室利用がない場合、夜間時間帯に勤務していた職員を日中勤務に回すことで、日中の相談支援の充実・強化が図れます。ご理解の程、宜しくお願いいたします。 (改善責任者：榊原)</p>	
<p>(共通・窓口相談・自主事業・貸出施設・予防/居宅・通所) 貸室予約に際し、3枠目の先着順の方法など、少し分かりにくいようです。</p>	<p>いつまでに：随時 何を改善するか：2枠目までの予約は全市共通で制限がありますが、3枠目以降は自由枠となるため、当ケアプラザでは応当日の1ヶ月前からの先着予約としています。分かりにくく、申し訳ございません。ご不明な点がありましたら、お気軽にお尋ねください。 (改善責任者：榊原)</p>	
<p>(共通・窓口相談・自主事業・貸出施設・予防/居宅・通所) 部屋がふさがっていて窓口で相談をした。他の利用者で知人が通る場合があるので配慮してほしい。</p>	<p>いつまでに：即時 何を改善するか：相談に関しては相談室が1つしかなく先約等で塞がっていますと窓口での対応となることからプライバシーに関してはパーティションを配置するなどの配慮をいたします。事前の予約もお勧めしています。 (改善責任者：高橋)</p>	
<p>(共通・窓口相談・自主事業・貸出施設・予防/居宅・通所) 連絡調整の手段をもっとわかりやすい方法で行えないだろうか？</p>	<p>いつまでに：準備が整い次第 何を改善するか：連絡手段として電話や電子媒体（メール・LINE等）の使用についてアンケートでお聞きしました。電子媒体を希望される方は19%。電話の併用も可とされる方は43%。電話を希望される方は33%でした。 ご利用者やそのご家族の年代を考慮して連絡方法を検討させていただきます。 (改善責任者：名取)</p>	